


腹壁癒痕ヘルニア根治術を受けられるID: 様へ

パスコード:08015 世代:2

発行日:1900/01/00

項目	月日 / 入院日 手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2~4日目	退院
達成目標	手術にむけて心や体の準備ができる	安心して手術を受けられる	傷の痛みや苦痛を伝えられる	トイレ歩行が出来る	痛みのコントロールを行い、支障なく日常生活が送れる	退院後の生活の注意点について理解した状態で退院できる
治療			お腹に管が入る可能性があります	毎日午前中に医師の診察があります	傷の状態をみます	退院後このような症状が出たら受診して下さい 38度以上の発熱 傷が赤い 今までにないような激しい腹痛 便秘が続く 食事摂取が出来ず、嘔気・嘔吐がある
処置	爪きり・ひげそりをして下さい マニキュアを落として下さい 指輪をはずして下さい 下肢の測定をします	入れ歯、時計、指輪、ピンをはずして下さい 深部静脈血栓予防のためのストッキングを履きます				
点滴			手術室で点滴が入ります 	食事が半量以上摂取できれば点滴が抜けます		
検査				採血があります 		
くすり	持参薬の確認をします 	持参されたお薬は医師の指示がない限り内服しないで下さい		朝より内服薬再開の予定です(看護師より説明があります)	抗血栓薬の内服開始は医師に確認後からです	
活動・安静度	特に制限はありません		手術後はベット上で安静にしてください 床ずれ予防のために看護師が体の向きを変えるお手伝いをします 	手術後初めて歩く時、看護師が付き添います 歩行が出来ます 	制限ありません 	
食事	夕食以後、食事はできません 19時以降は、OS-1・お茶・水のみ摂取可です	飲水は()時まで可能です 	医師に確認後、水分が取れます(看護師より説明があります) 	昼から5分粥食が開始になります	昼から普通食が始まります 	
清潔	入浴できます 			タオルで体を拭きます 	傷の状態シャワーに入れます 	傷の状態入浴出来ます 
排泄			手術室で尿の管を入れます 	午前中に尿の管を抜きますその後、トイレに行けます	トイレに行けます	
患者様及び家族への説明 服薬指導	お名前確認のため、ネームバンドを付けます 主治医より手術・治療について説明があります 手術前後の流れについて看護師より説明します 手術までに看護師より、呼吸の方法やうがいの仕方について説明があります 手術の同意書を看護師に渡して下さい 手術に際して準備していただく物 テープ式紙オムツ1枚 吸い飲みか先の曲がるストロー、コップ ビニール袋2枚(寝衣と靴を入れます)	手術は()からの予定です 他の手術の進行具合により時間が変更になることがあります 手術室の看護師がご家族の方に呼び出し用ポケットベルをお渡し控え室へご案内します 持参されたお薬は、医師の指示がない限り内服しないで下さい 	主治医よりご家族に手術内容についての説明があります 痛みのある時はお知らせ下さい 手術前に説明した呼吸法やうがいのお手伝いをします 	痛みのある時はお知らせ下さい	看護師より再発予防について説明があります	看護師より退院時の説明があります 10時頃退院となります 
	わからない点や質問があれば遠慮なく看護師にお尋ねください 病状により経過や入院日数が変更することがあります					

注)この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。

大阪南医療センター クリニカルパス委員会 2022/6/21承認

主治医: